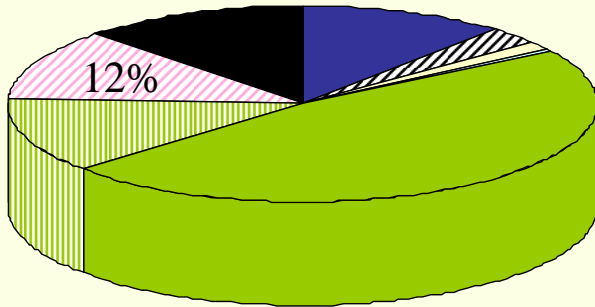


肝硬変の成因

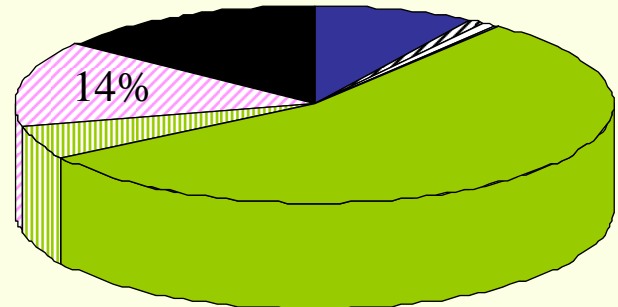
堀江義則、他 飲酒の肝硬変への影響 -C型肝炎とアルコール性肝硬変の関係について- 日本アルコール・薬物医学会雑誌 44: 38-42, 2009.

- HBV
- ▨ HBV+AL
- HB+HC
- ▨ HB+HC+AL
- HCV
- ▨ HCV+AL
- ▨ AL
- Other



アルコール性:	12%
アルコール+ウイルス性:	15%
合計	27%

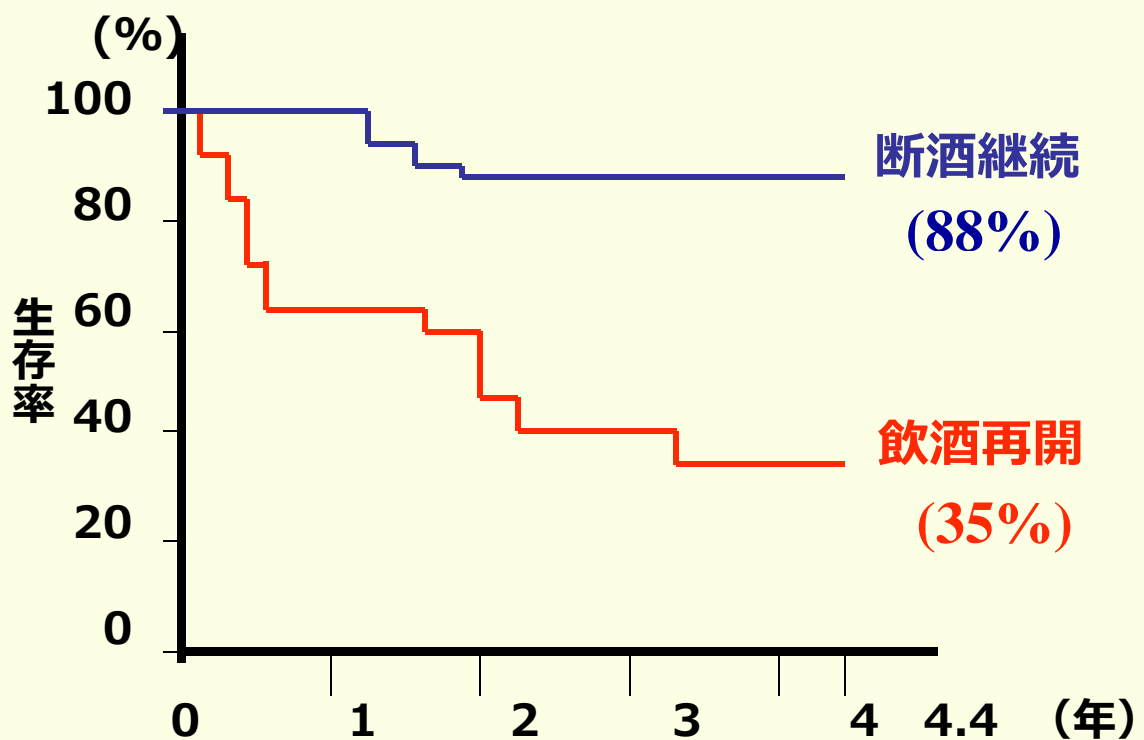
平成10年度全国統計
(n=21769)



アルコール性:	14%
アルコール+ウイルス性:	6%
合計	20%

平成19年度全国統計 (今回)
(n= 9126)

アルコール性肝硬変の予後と飲酒の影響



(Yokoyama A, et al., Alcohol Alcohol, 1994)

レッドカード

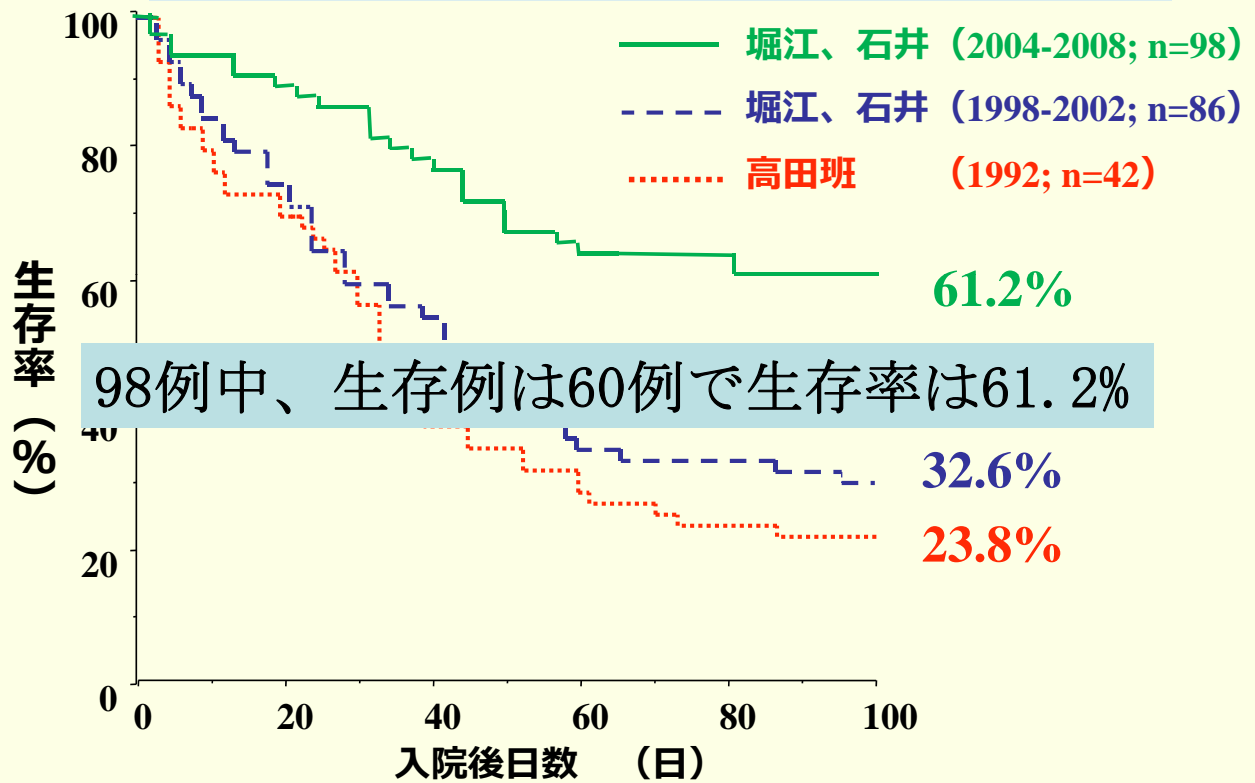


重症型アルコール性肝炎

アルコール性肝炎の中で、**肝性脳症、肺炎、急性腎不全、消化管出血**などの合併や、**エンドトキシン血症**などを伴い、禁酒しても肝腫大は持続し、多くは1ヶ月以内に死亡する病態を示すものである。

プロトロンビン時間は50%以下で著しい多核白血球増加を示し、病理組織学的には多数のマロリー体の出現と強い肝細胞変性、壊死などがみられるのが特徴であり、劇症肝炎と同様に予後不良な疾患である。

重症型アルコール性肝炎(SAH)の予後



Horie Y, et al. Clinics and Research in Hepatology and Gastroenterology, In Press より改変して引用

